

■ 御正体山山行

■ 2024年11月29日(金)～30日(土)

■ 参加者：H、M、M(記)

■ 費用：高速約¥10,000、ガソリン約¥7,000、宿泊¥4,000×2泊(以上御正体山と金時山分)

■ 行動記録

11/29 大和郡山 13:05 ⇒名阪道・湾岸道・第二東名経由 ⇒山中湖畔の宿 20:10

11/30 宿 5:50 ⇒二十曲峠 6:20～38 ⇒石割山 7:13～26 ⇒山伏峠分岐 8:24～30 ⇒中ノ岳 9:16～29
⇒御正体山 10:26～52 ⇒中ノ岳 11:39～47 ⇒山伏峠分岐 12:30 ⇒石割山 13:38～55
⇒二十曲峠 14:21～30 ⇒温泉立ち寄り・宿 17:30

■ 出発地点の二十曲峠は標高約 1150m、快晴の峠の展望テラスからは真正面に富士山の展望が広がり、複数のカメラマンが日の出を待ち構えている。我々も少し出発を後らせて朝日に染まり始めた富士山の写真を撮ってから石割山に向けて出発。落葉樹で明るい尾根の道は緩やかで、朝が早いのか他に登山者もなく 30 分余りで石割山山頂に到着。山頂からも富士山方向に眺望が開けている。ここから御正体山に向けては眺望がほとんどないが明るい落葉樹の尾根をたどる。途中東の方には朝日に輝く相模湾、西側は木の間越しに富士山や南アルプスの白い山並みが見られる。幾度かのアップダウンを繰り返し最後の標高差約 230mを登りきると御正体山の山頂に到着、なだらかで広いが落葉樹で展望はない。一角に皇太子殿下が平成 16 年の 10 月に登頂されたときの立て札がある。この山頂には他に三方向からの登山道があるがいずれも展望はいま一つようだ。山頂でゆっくりコーヒータイムを過ごす。その間にも何人かが三輪神社の登山口から登ってきたが、皇太子が登られた池ノ平からのコースは林道が通行止めのため利用されていないようだ。復路も落ち葉のアップダウンを繰り返し、予定より 1 時間半ほど早く駐車場に帰り着き、宿の近くの温泉でゆっくり温まった。今日は山の上は風が強いとの予報だったが、冷え込みはあったものの穏やかな風で、陽だまりは温かく出会う人も少なく気持ちの良い一日だった。



二十曲峠の展望テラス、複数の写真愛好家たち



テラスから望む朝日が当たり始めた富士



石割山頂からの富士と山中湖



気持ちの良い落ち葉の路、陽射しが暖かい



遠く朝日に輝く相模湾



明るい尾根道は落ち葉が気持ちよい



御正体山山頂



皇太子の登頂を示す立て札



雪を頂いた南アルプス



午後の二十曲峠からの富士山